

Ouho kai - Kaihou

編集発行：山口県立大学同窓会桜圃会
《事務局》〒753-8502 山口市桜島6-2-1
TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2 25095
メールアドレス ouhokai@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp
印刷：(株)マルニ

桜圃会 会報

Vol. 73
令和7年2月1日発行

桜圃会創立80周年記念号



山口県立大学1号館開所式

2024年(令和6年)4月4日

「桜圃会」の バトンを 未来に繋ぐ



山口県立大学同窓会桜圃会
会長 相本艶子

「桜圃会」創立80周年。その記念すべき節目を、先ずは皆様とご一緒にお祝いしたいと思います。

節目の令和6年度総会(80周年記念総会)において、桜圃会は、「一般社団法人山口県立大学桜圃校友会」への移行を決議いたしました。80年の長きあゆみを通して培ってきた貴重な活動と足跡、地域や大学との絆。そして、これから若き後輩たちが創っていく新時代。これからの多様な活動や体制を熟考した結果です。

自然豊かな、田園に囲まれたかつての学び舎から、今、高台の桜の森にそびえる近代建築の新校舎の姿に、改めて80年の激変してきた時代の流れ、歴史の重みを感じ、そして、これから創っていく「桜圃会」の未来に思いを馳せませう。

少子・高齢社会の深刻化等

による、「地域貢献型大学」「知の拠点」として、キャリアアップ、リカレント教育、DX人材の育成等々、「時代の課題」に取り組む母校の改革。桜圃会のバトンを受け取る「桜圃校友会」の活動は、学生、教職員の方々、卒業生等一丸となって、母校の進化を応援し、絆を深める活動を構築していきたいと念願しております。

「桜圃校友会」は、令和7年度に設立総会を開催し、新たな活動を開始することになります。これまでの桜圃会の活動、例えば、「桜圃会賞」の選定・表彰、会報の発行、公開講座、学生支援活動などは、ほぼ引き継がれます。

「桜圃会」のバトンを、「桜圃校友会」に引き継ぎ、若き後輩たちと共に築いていく未来。時代に相応しい体制を、活動を、みんなで熟考しながら歩みを進めていきましょう。

(昭和41年被服卒)



昭和17年宮野桜島に新校舎完成



山口高等女学校の
要会館を借りて開校▶

昭和26年



予科(修業年限1年)
本科(修業年限3年) 国文科
家事科、裁縫科

昭和16年設立

山口県立女子専門学校時代



第一回卒業式 昭和18年9月30日(桜圃会創立)



女専の校章

桜圃会 八十年の歩み



工場動員姫路製作所



軍事訓練

戦時下の学生生活



体育の授業風景



国文の授業風景

戦時下の授業風景



裁縫実習



調理実習



女子短期大学の本館



校章「専」→「大学」

昭和51年

← 児童専攻を廃止して、保育科(幼稚園教諭免許取得課程)を新設

昭和32年

附属幼稚園 附設

9月1日

記念日

5月15日に開校式(現在の開学

童専攻)

家政科(食物専攻、被服専攻、児

昭和25年 設置 国文科

山口女子短期大学時代



山口市内街頭の昇格署名運動
(昭和42年12月)



開学式(昭和25年5月15日)



榎水寮からの通学風景



授業風景(食物)



通学風景(昭和47年)

桜園会 八十年の歩み

山口女子大学時代

桜園会 八十年の歩み



郷土文学資料センターの開所式
(昭和61年5月15日)



山口女子大学開学式 (昭和50年5月26日)



桜園会館に桜園会より寄贈の緞帳 (平成8年)



山口女子大学創立50周年記念式典
(於：山口市市民会館 平成3年5月15日)



附属幼稚園閉園 (平成8年3月)



桜園会第13回公開講座「舞台芸能」
(平成3年8月31日)



山口県立大学時代

桜園会創立60周年・第25回桜園会公開講座記念コンサート
田村洋 金子みすゞの世界 ポニージャックス リハーサル風景 (於:桜園会館 平成15年10月25日)



「桜の森プロジェクト」記念碑除幕式
会長 吉村 京 (平成17年6月8日)



公立大学法人山口県立大学設立式
テープカット



桜園会賞受賞式



桜園会創立70周年記念もちまき
(於:桜園会館 平成25年11月3日)



水無月祭 桜園会長杯騎馬戦優勝チーム
(於:大学運動場)



コロナ禍における学生支援として
「体温検知機能付きカメラ」と「自動手指消毒器」を寄贈



70周年記念タグ
デザイン 小橋圭介
(平成14年環境デザイン学科卒)



70周年記念バッグ・マグカップ
デザイン 大田 舞
(平成15年環境デザイン学科卒)

桜園会 八十年の歩み

ホームカミングデー

桜園会総会の後、大学主催のホームカミングデーが開催されました。



オープニング



BLAZE演奏



卒業生インタビューの様子



学生スタッフ協力



手話サークル・幸せの星

卒業生インタビューを受けて 篠原 智子

この度、ホームカミングデーの卒業生インタビューを受けて、昭和の学生時代を懐かしく振り返ることができました。入学した昭和五十二年は山口女子短期大学から山口女子大学になって三年目でした。学業や部活のバドミントンに励む中、上級生の力強さや優しさに憧れ、同期生の思いやりで心を癒された学生生活でした。

卒業後は学校栄養士として勤務してきました。平成七年に山口市立大蔵小学校に在任中、保護者の方々に向けて

給食便りでアイデア料理を募集したところ、チキンチキンごぼうを提案してくださいました。鶏肉やごぼうを油で揚げて甘辛いたれを絡めるといふ美味しくて比較的簡単に作ることでできる料理でした。これが大蔵小から山口市の給食メニューになり、今では山口県のソウルフードと呼ばれるまでになりました。学校給食から地域の方々にも愛される料理が生まれたことは嬉しいことです。提案して下さった保護者様、盛り上げて下さった多くの皆様に感謝申し上げます。

現在私は山口県立大学のある宮野地区で福祉員をしています。地区での様々な取り組みに対して大学の先生方、学生の皆様には多くのご協力を頂いております。感謝申し上げますとともに大学の更なる発展を願っております。

(昭和56年食栄卒)



キャンパスツアー



教職員の案内誘導で



ギャラリー



動画制作スタジオ



5階からの展望

ホームカミングデー終了後、新しい北キャンパスや懐かしい南キャンパスを見学するキャンパスツアーが行われました。

学生時代を思い出して

竹永 吉伸

ホームカミングデーに参加し、学生時代の思い出についてインタビューを受けた。振り返ると、二〇年以上前の思い出は、楽しいことばかりだったと改めて感じている。

私は、社会人経験を経て、二七歳の時に大学に編入学した。周りの学生はほぼ二〇歳前後で、馴染めるか不安だった。入学式直後に行われた学部オリエンテーションも、緊張したまま参加した。自己紹介を終えた私に、若い学生が話しかけてきた。「鬼ごっこしよう。」気が付いたら大きな声で

笑いながら、教室の中を走り回っていた。二七歳の社会人では、なかなか経験出来ない出来事に、戸惑いながらも嬉しさでいっぱいだったのを覚えている。年齢の壁が無い大学。私の第一印象だった。

学生生活は、ほぼゼミの研究室で過ごした。朝から晩まで、担当教授の横山正博先生と過ごしていた。怒られるかもしれないが、私にとって研究室は、ほぼ我が家。今考えると、多大なるご迷惑を掛けていたに違いないが、とにかくアットホームだった。他の学生も、研究室を我が家のようにして過ごしていた。校舎は新しくなっているが、アットホームな校風は残り続けて欲しいと思っている。

平成14年社福卒
平成24年大学院修了



「デジタル文系」の始動

山口県立大学
学長 田中マキ子



令和7年4月から、国際文化学部情報社会学科が新設され、入学者を向かい入れる運びとなりました。この再編は、急速に進展するデジタル社会への対応であることは基よりですが、令和3年3月に策定された「山口県新たな時代の人づくり推進方針」において、県立大学が担うべき人材育成・研究拠点機能の在り方として検討された「山口県立大学将来構想」への対応の一端を担います。

実践することです。問題解決に必要な情報を集め、問題を考え抜くためにお互いの考えを共有し最適な答えを導きだすという、どんなにコンピューターが発達しても人間の能力を追い越すことのできない人間に備わっている能力を引き出す働きかけを行います。

昨今では、多くの大学でこうした情報学を中心とした学部や学科が開設されますが、本学では「デジタル文系」と称して、本学だからできる人文的素養とデータとデジタル活用を重視し、文化的要素と工学的要素が交わることで開花する力の涵養を目指します。生活者としての視点を重視し、社会でおこる問題や不便さについて気づき(文化的要素)、工学的な観点から迫る(情報/工学的要素)ことで、人々の生活をより良いものへ変革します(DX・デジタル・トランスフォーメーション)。

は、創立90周年に向けた挑戦的な歩みとなります。これまで同様に、卒業生の皆様からご導き鞭撻を賜りながら、確実に歩んで参ります。応援どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域連携機能を強化する 1号館の地域連携スペース

地域共生センター
センター長 吉村 耕一



活動を強化するとともに、本学のような活動を地域に向けて魅力的に発信する場としての役割が期待されています。

本学の北キャンパスに1号館が新たに完成し、本年4月4日に開所式が行われました。この1号館に南キャンパスにあった大学の事務機能と地域貢献活動を担う地域共生センターが移転しました。1号館最上階5階には、桜園会事務局の事務室もあります。さらに、1号館の開所に伴い、3階と4階の「地域連携スペース」の運用が始まりました。地域連携スペースは、一言で言えば、学生・教職員と地域をつなぐ交流拠点です。地元の企業・団体・自治体や地域の人々と本学との連携



3階には、新しいメディアを活用した情報発信の空間として、本学の教育研究成果を常設展示するギャラリーと動画制作スタジオがあります。また、利用者同士の出会いや接点を生むオープンな空間として、コワーキングスペースがあります。このコワーキングスペースは、学外の方でも事前登録によりご利用いただけます。地域の人々と本学の学生・教職員との出会いや交流を通じて、新たな発見や創造が生み出されることが期待されます。4階には、大学と地域のコミュニケーションを触発する空間として、学内者と地域の方との交流活動や

セミナー等に活用できるミーティングルームがあります。

地域連携スペースの活用を促進して地域連携を強化するため、地域共生センターが中心となって様々な交流イベント等を企画・開催しています。本年度は、毎年恒例の「県大見本市」を初めて1号館の地域連携スペースを使って開催しました。県大見本市は、本学の教育研究活動を発信することで地域とのさらなる連携強化を図るイベントです。本学が推進する地域との様々な取組みについて、教員・学生・卒業生がプレゼン発表を行いました。また、教育研究活動で連携した企業・自治体にも参加いただいて、展示や物品販売も行いました。200名を超える方にご参加いただき、たいへん盛況でした。

地方創生に対する大学への期待は今後ますます大きくなります。本学はその期待にこたえて「地域貢献型大学」としての存在感を高めていかなくてはなりません。桜園会の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ギャラリー

人事異動

■役員

就任

松岡 正憲 専務理事兼事務局長

退任

渡邊 隆之 専務理事兼事務局長

■教員

採用

榮田 絹代 看護栄養学部准教授

松浦 仁美 看護栄養学部准教授

退職

吉村 眞理 看護栄養学部准教授

吉兼 伸子 看護栄養学部准教授

角田 憲治 社会福祉学部社会福祉学科准教授

■事務職員

採用

竹村 和之 将来構想推進局審議監兼山口県立大学附属高等学校設置基準室長兼高大連携推進室長兼特命教授

重村 励志 将来構想推進局山口県立大学附属高等学校設置基準室副室長兼高大連携推進室副室長兼教育研究支援部教務部門兼学生部入試部門

西村 章 法人経営部事業管理・経営企画部門主査

神本 若葉 法人経営部事業管理・経営企画部門主事

吉松 浩之 学生部入試部門主事

退職

福本 肇 総務部長

河崎 雅彦 法人経営部事業管理・経営企画部門長

兼将来構想推進局SPARC推進室

令和6年度

山口県立大学同窓会桜園会創立80周年記念 第45回公開講座

山口県立大学全学客員教授特別講義

ニュースを知ることは
社会を知ること

全学客員教授

浜田 敬子 氏

ジャーナリスト
前 Business Insider Japan 統括編集長
元 AERA 編集長



ネットやスマホが日常的に使われる現在、同じニュースの話題なのにどうも会話が噛み合わない…この情報は正しいの？など、感じたことはありませんか。ニュースメディアの編集長をされてこられた浜田さんから、ニュースを読むことで時代の変化をどう捉えていくのか、という「読み方」をお話しいただきます。そして社会を知ること自身の将来ビジョンを考えるヒントをいただけることと思います。

講師プロフィール

山口県出身。1989年に朝日新聞社に入社。99年からAERA 編集長、取締役などを経て、2014年からAERA 編集長。2017年3月朝日新聞社を退社後、世界12カ国で展開する経済オンラインメディア Business Insider の日本版を統括編集長として立ち上げる。2020年末に退任し、フリーランスのジャーナリストに。2022年8月に一般社団法人デジタルジャーナリスト育成機構を設立。2022年度ソーシャルジャーナリスト賞受賞。2023年10月からBリーグ理事も務める。
『朝日朝一モーニングショー』『サンデーモーニング』『News23』のコメントーターや、ダイバーシティなどについての講演多数。著書に『働く女子と無職男子 男性中心企業の経済がいかに！』ボタンを押し前に』（共著）。

令和6年12月23日(月)

14:40~16:10 (受付 13:30~)

会場：桜園会館(山口県立大学講堂)

入場無料(事前申込制)※当日参加も可



山口県立大学同窓会桜園会創立80周年記念
令和6年度第45回公開講座

冬日和
卒業生・学生・教職員・地域の方など
四百名を超える参加がありました。

歴代桜園会公開講座一覽

回・年

講師等

演台

第18回(平成8年)

元東京地検特捜部・弁護士
堀田 力

夢はふれあい社会づくり

第25回(平成15年)

ポニージャックス
山口県立大学教授 田村 洋

ミニコンサート
金子みずゞの世界

第26回(平成16年)

宇宙飛行士 秋山豊寛

宇宙飛行士が見た私たちの星、
かけがえのない地球

第27回(平成17年)

映画監督 佐々部清

人が映画をつくる 映画が人をつくる
地霊と感性

第28回(平成18年)

作家 高樹のぶ子

医者が井戸を掘る理由

第29回(平成19年)

医師 中村 哲

いつだって心は生きている
一人ひとりに寄り添うケア

第30回(平成21年)

グループホームふあみりえ、
ホーム長 大谷のみ子

筆・三絃奏者 加藤美枝

第31回(平成22年)

脚本家 福田 靖

言葉と人間
『龍馬伝』に込めた想い

第32回(平成23年)

杏林大学外国語学部教授
金田一秀穂

ともに生きること、考えること
―チエルノブイリと福島―

第33回(平成24年)

写真家 大石芳野

グローバル人材の養成

第34回(平成25年)

内閣官房参与・元外務事務次官
谷内正太郎

地球環境を救う新しい
ライフスタイルへ

第35回(平成26年)

淑徳大学教授 北野 大

脳を科学で解明
男女や年齢でこんなに違う感性

第36回(平成27年)

(株)感性リサーチ
代表取締役 黒川伊保子

知っておきたい地球温暖化
問題の本質

第37回(平成28年)

国立環境研究所地球環境研究センター・気
候変動リスク評価研究室長 江守正多

写真で伝える世界の今

第38回(平成29年)

フォトジャーナリスト
安田菜津紀

プラス思考で輝いて生きる、素敵な人
生、素敵なコミュニケーションスキル

第39回(平成30年)

(株)Bマインド
代表取締役 関根近子

きずな。の今とこれから

第40回(令和元年)

音楽家 宮川彬良
音楽家 湯川れい子

私たちの選択が未来を変える
エンカル消費のすすめ

第41回(令和2年)

一般社団法人エンカル協会
代表理事 末吉里花

山口県立大学を哲学する
『学ぶ』をいかに「生きる」に繋げ
るか

第42回(令和3年)

コーディネーター 小川仁志
パネリスト 福田百合子
パネリスト 米重敬明
パネリスト 林 真由

BE PLAYFUL

第43回(令和4年)

同志社女子大学名誉教授
上田信行

ひとや地域の魅力を推進できる
文系DX人材とは?

第44回(令和5年)

コスモスルギーホールディングス(株)
常務執行役員CDO ルソンカ典子

ニュースを知ることが社会を知ること

第45回(令和6年)

ジャーナリスト 浜田敬子

ニュースを知ることが社会を知ること

令和六年度 桜園会総会

令和六年五月十九日(日)、山口県立大学桜園会総会が北キャンパス二号館B401教室で行われた。百四名の参加があり、大変盛会であった。

最初に、相本艶子会長、岡正明理事長、本会名誉会長の田中マキ子学長から挨拶があった。

続いて議事に入った。まず、令和五年度事業報告、決算報告、監査報告、令和六年度事業計画、予算案がそれぞれ承認された。

次に、校友会への移行が審議され、挙手での採決により正式に決定された。

総会終了後は大学主催のホームカミングデーが厚生棟で開催され、世代も学部も異なる卒業生等を迎えて「今と昔」についてのインタビューがあり、在りし日の姿や今の活躍を知ることができた。また、その後新旧キャンパスの見学ツアーを実施し、旧学舎は今が最後の見学チャンスとなった。

今、桜園会は大きな転機を迎えている。今年度末校友会への移行が決まり、来春新しく桜園校友会として生まれ変わり新しい歩みが始まる。校友会への移行に関し、この数年間プロジェクトチームワーキンググループ・検討委員会を立ち上げ、話し合いながら

大学との情報交換会を重ねてきた。支部によっては、長年存続が難しく、支部長の担い手もない等の悩みがあった。この度の最後の総会で、支部の解散を報告した支部もあった。

この八十年間という桜園会の長い歴史の中で社会の大きな変化に伴い、学舎も学部も改革され、学生の生活も大きく変わって来ている。時代の流れを考えれば、校友会への移行は仕方のない事とはいえ寂しさを払拭できないのは私だけではないと思う。

来春三月、第八十一回桜園会総会は解散総会となる。桜園会に終止符をうつのではなく、古き良き時代の思いや伝統を大切にしながら、新時代の流れに沿って発展して欲しい。

そして、同窓生が共に高めあい寄り添える、心のふるさとのような新生桜園校友会となるよう大きな期待をもちたいと思う。

(平成3年食栄卒 熊野記)



山口県立大学同窓会桜園会 解散総会 (第81回)のご案内

日時

令和7年3月9日(日)
11時～14時

場所

山口県立大学北キャンパス
山口市桜島六丁目2番1号

総会

会場：2号館4階B401

時間：11時～12時

議事：会務報告、

決算報告、

監査報告、

校友会 他

懇親会

会場：厚生棟

時間：12時15分～14時

参加費：2,000円

総会実行委員は、S56年卒業・R6年卒業、修了の方々です。

※出席ご希望の方は、2月28日(金)までに同窓会事務局までお知らせください。

大学との情報交換会

令和六年五月十八日(土)、桜園会・山口県立大学情報交換会が開催されました。

まず大学より近況報告がありました。時代や社会の変化に対応し、地域とともに未来を切り拓く大学であり続けるために

将来構想を策定し①地域の国際化と情報化に対応するため国際文化学部を再編し情報社会学科を設置する②社会福祉学部・看護栄養学部を充実する③子ども・子育て支援への貢献を

する。社会福祉学部附属の子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所で専門家の育成のための教育研究を行う④地域企業・高校等との連携を強化すると説明されました。

また文部科学省から助成を受け様々な人材育成教育を行っている

る、社会福祉学部の学生が現役大学生として初めて手話通訳者試験に合格した、四月に北キャンパス二号館が完成し産学公連携・地域連携の場として利用していく。二月には歴史ある学生寮「榎水寮」が閉寮されたこと等が報告されました。

次に翌日の桜園会総会での校友会移行への提案・議決を踏まえ再度校友会設立案(定款案)が示され説明されました。その後理事・支部長から支部の在り方や「支部会費の徴収や本部からの助成金はどうなるのか」「現行の会計口座や残

預金はどうすればいいのか」など支部会計について等の質問や意見が活発に出されました。今後更に具体策が決まり次第支部へお知らせすることになりました。

(昭和51年被服卒 岡村記)

令和5年度桜園会会計収支決算書

R6,415(単位:円)

目録		令和5年度決算額
料収繰	越	7,509,508
経常	会	1,794,000
本	入	12,483,005
事	会	208,000
業	金	31,048
雑	担	
合	負	
	収	
	計	22,025,561
支	出	
総	費	471,145
会	費	206,451
支	助	624,104
部	成	1,610,050
報	費	107,956
開	賞	231,416
公	品	680,000
桜	費	94,364
入	支	2,262,017
会	支	1,347,766
記	支	107,107
念	支	4,455
品	支	2,070,335
活	支	99,000
動	支	1,025,684
支	支	235,109
援	支	171,030
費	支	160,820
費	支	11,508,809
費	支	10,516,752
計	支	
金	支	
次	支	

第二十九回 支部長・理事合同会議

第29回桜園会支部長・理事合同会議が、令和六年五月十八日(土)、大学の新1号館において、県外から6支部、県内からは全支部の出席を得て開催されました。

まず相本会長より「桜園会は昨年創立80周年を迎え、これを機に新しい時代にむけて、これまでの活動や伝統の上に、これから迎える多くの若き後輩たちの力が活かせる組織や体制について協議を重ねてきました。その結果である一般社団法人山口県立大学桜園校友会への移行について、卒業生、在学生、教職員が一体になった未来の本会の在り方を熟慮したものであるとご理解いただき、ご協議願いたい。」と挨拶がありました。引き続き岡村副会長から、校友会への移行に向けた現状と課題、検討経緯、一般社団法人化することの意味、今後のスケジュール等が説明され、全体で再確認がなされました。

その後の意見交換では、各支部からは、支部長の引き受け手が無いこと、支部活動の実施や補助金使途の報告が困難であること、支部役員の負担軽減の必要性等のご発言がありました。また示された桜園校友会定款(案)に関連して、同窓会総会は社員総会となるのか、支部長が代議員となるのか、支部活動は今後どう変わるのか支

部活動の実施にかかる費用は助成されるのか、支部会保有の財産はどうなるのか等々、多くの質疑もありました。

一般社団法人化することで、総会の開催方法や役員の構成、支部活動の進め方等これまでと異なった形式となります。支部長様からいただいた貴重なご意見を念頭に、今後更に支部活動がより円滑に運営できるよう定款に基づき必要な諸規則や細則の策定を進め、桜園校友会への理解を深めて、より良い支部活動を創っていくことが大切だと感じました。

また示された桜園校友会定款(案)に関連して、同窓会総会と社員総会との関係、支部長と代議員の関係、代議員の構成、支部活動の実施にかかる補助金と助成金の関係、これまでの支部会保有の財産の対応等々、多くの質疑がありました。

(昭和54年食管卒 乃木記)



吉村京元会長を偲んで

吉村京元会長の訃報に接して

矢儀 保子



令和六年九月、突然の訃報を受け敬愛する、吉村京元会長のご葬儀に参列いたしました。

斎場では吉村さんの大好きな花々に囲まれた笑顔の遺影に迎えられ、改めて大切な、大切な方を失ったという、大きな喪失感に襲われたのです。

吉村さんとの出会いは、昭和末期、私の県消費生活センターへの異動によるものでした。吉

村さんは、女性職員のリーダーとして既に、一目置かれた存在でした。

時代は男女共同参画、児童環境づくり、働く女性のための新しい指針や施策が、求められておりました。

その後吉村さんとは、何度か同じ部署に配属されてご指導を受けることも多く、同窓生としての思いも深まっていきました。

吉村さんはとても穏やかな方で「大人」といった趣で、存在感があつて各方面より、とても頼りにされる存在だったと思います。

又働く女性として、子育てや地域活動などにもしっかり関わっておられ、一歩先を歩む女性としてのお手本を、お示しいただいておりました。

親しみやすいお人柄とその豊かなご見識をお持ちのせいもあり、男女を問わず親しく交友を結ばれており、その様子をとても羨ましく感じておりました。

長年のご指導に深く感謝いたしますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(昭和37年国文学卒)



桜園会賞 受賞時の様子

第二十四回桜園会賞 受賞報告

功労賞

下関海響

マラソン完走

木村 僖乃



皆さん、こんにちは！このよう
な素晴らしい功労賞をいただき、
大変光栄に思います。同窓会の皆
さん、そしてこの賞を選んでくだ
さった方々に心から感謝申し上げ
ます。この賞を受け取るにあたり、
まずは私の家族、友人、そして
勤務先の院長、同僚の皆さんにお
礼を言いたいと思います。皆さん
の支えと励ましがあってこそ、今
日の私があるのだと感じています
。65歳からフルマラソンへの走る
きっかけは、当院の院長のおかげ
です。また、母校で過ごした日々
を思い返すと、ここで学んだこと
や出会った人々が私の人生に大き
な影響を与えてくれました。お世
話になった方々に感謝の意を表
したく、授賞日の10日前の、11月

3日下関海峡マラソン出場完走
を決意しました。実は長野マラ
ソンで左膝を痛めてフルマラソ
ンは諦めかけていましたが、復活
とチャレンジが恩がえしと思い
ました。37キロで脚にけいれん
が起き完走を断念しかけまし
たが、お二人のペースランナーの
アドバイスと支えもあり無事5
時間7分で完走しました。82歳
です。女子最高年齢でした。復
活の兆しを感じてこれからも
チャレンジしていきたいと思いま
す。この功労賞を胸に、今後も
さらに努力を重ね、頑張りた
いと思えます。有難うございま
した。

(昭和37年食物卒)

奨励賞

これまでを
振り返って

平川 和明



この度は、桜園会奨励賞をい
ただきまして、誠にありがとう
ございます。

私は大学に入学した当初、将
来何をやりたいのか見つけれ
ず、悶々とした日々を過ごして

いたことを覚えています。しか
しながら、大学の講義や恩師の
アドバイス、友人との交流を通
して、将来家具づくりを仕事に
したいと思うようになりまし
た。その覚悟を決めてからは、
それまでとは全く異なった挑戦
の日々となっていました。大学院
に進学し、フィンランド留学を
経て目標であった家具デザイナー
制作会社を在学中に設立しま
した。会社の運営では全てが初
めてのこと、最初はうまくいか
ないことばかりでしたが、必死
で取り組むことで少しずつ改善
していきました。苦しいこと、楽
しいことも全て含めて、運営し
ていた11年間に得た経験が今で
は財産となっています。

現在は、山口大学教育学部美
術教育選修で教鞭をとり、デザ
インや木工の指導をしていま
す。今回奨励賞として評価いた
だいた研究は、地域密着型の文
化財保存プロジェクトで、これま
での家具づくりの知識と技術を
活かしてチームの一員として活
動に取り組んでいるものです。

今回の受賞をきっかけに何事
にも恐れず挑戦してきたから
こそ、今があるのだと実感する
ことができました。その思いを
忘れずに精進し、今後の活動の
励みにしていきたいと思えます。

平成14年環デ卒
平成17年大学院修了

これまでの「桜園会功労賞」「桜園会奨励賞」「桜園会学生賞」受賞者

- 平成13年度
 - 桜園会功労賞 杉原 絹江
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「ゴージュ」 部長 小山ナツコ
- 平成14年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 山口県立大学同好会 代表 西藤 善乃
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 部長 花美屋 一希
- 平成15年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 高木 良子
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 宗内 徳子
- 平成16年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 市川 益子
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「ぐるぐるリング」 部長 馬場 美喜
- 平成17年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 フラメンコ部 部長 六条 奈緒美
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 学生ぶちポラントシアセンター」 部長 山下 貴美子
- 平成18年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サムルノリ サークル 部長 洪 美律
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 服飾研究学生グループ リーダー 沖 大樹
- 平成22年度
 - 桜園会功労賞 該当者なし
 - 桜園会奨励賞 タンデムサークル 部長 清水 あかね
- 平成23年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成24年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成25年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成26年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成27年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成28年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 平成29年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 令和元年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 令和2年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 令和3年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
- 令和4年度
 - 桜園会功労賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学 サークル「SCC」 部長 植木 ひとみ

奨励賞

「山口県内で働く」という魅力

松村 竜也



この度は桜園会奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。連絡をいただきました時には、まさか私かと驚きました。

私は兵庫県出身で、23年前に県大入学を機に山口県に来て、卒業後もそのまま県内に就職。現在は、株式会社コアという広告会社にて企画制作の仕事をしておりま

す。学生時代を振り返りますと、大学院では井生先生の地域デザイン研究室に在籍し、「地域からの文化発信」というテーマの研究をしておりました。と文字にする

ております。ただ、イベントを企画したり、CDやポスター、グッズ、HPのデザインをしたりすることが何より楽しかったのを覚えています。

卒業後就職してからも大学と関わりは途絶えず、2013年から数年にわたり入試広報の仕事なども請け負わせていただきました。山口けんじつ大学「のポスターや、「新校舎誕生！踊るCM」などの仕事にて、数多くの広告賞をいただくことが出来ました。おかげで業界内でも「なんか面白い若手が出てきたぞ」と可愛がってもらえるようになりました。

近年は、総合的なWEBプロモーションや映像制作、オンラインイベント運営の業務がメインで、県や自治体の案件も数多く任されており、地域が抱える課題に対して企画デザインの手法を用いて魅力発信や新しい価値の創造を行い、課題の解決につなげる活動をさせてもらっています。

私は大学で学んだことを生かし、また卒業後も大学と関わりながらキャリアを積み、地域社会の役に立てる仕事が出来ていきます。これは学校と生徒の距離の近い県大だったからこそであり、私の財産です。これか

らは自分が育ててもらったことや培った経験を次世代の後輩に伝えていくことにも力を入れていきたいと考えています。この度は誠にありがとうございます。

平成17年生環卒
平成19年大学院修了

学生賞

学生賞を
受賞して

手話サークル幸せの星
部長 西村 美咲



この度は、桜園会学生賞という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

私たち手話サークルは、「手話の良さ、楽しさを広めよう」という思いで活動を行っています。普段は、手話の勉強だけでなく、その学んだ手話表現をゲームに活かしてさらに理解を深めています。また、地域の行事や大学での行事にも出演依頼を多くいただくことがあり、そこで手話を披露しています。

- 平成19年度
 - 桜園会功労賞 昭和19年家事科卒業 長岡 美穂子
 - 桜園会奨励賞 山口県立大学えこチャリ 代表 郭 伝彌
 - 山口県立大学KIMONOサークル 代表 豊政 美歩
- 平成20年度
 - 桜園会功労賞 昭和36年家政科食物専攻卒業 田中 和代
 - 桜園会奨励賞 吹奏楽団BLAZE 団長 清水 美里
 - 山口デザイン研究会 代表 竹部 健真
 - はーとボランティア委員会 代表 高橋 佑太
- 平成21年度
 - 桜園会功労賞 昭和31年国文科卒業 森重 香代子
 - 桜園会奨励賞 よさこいサークル奄美連合秋組 代表 長野 洋子
 - エコアクション21学生委員会 代表 高橋 由佳
- 平成22年度
 - 桜園会功労賞 昭和55年児童文化学科卒業 組木 美沙
 - 桜園会奨励賞 平成15年環境デザイン学科卒業 デザイナー 大田 舞
 - 桜園会学生賞 「ツナグ」 代表 磯崎 歩
- 平成23年度
 - 桜園会功労賞 昭和31年家政科食物専攻卒業 小川 雅子
 - 昭和31年国文科卒業 長戸 幸江
 - 桜園会奨励賞 平成20年大学院国際文化学 研究科修了 米本 太郎
 - 桜園会学生賞 該当者なし
- 平成24年度
 - 桜園会功労賞 該当者なし
 - 桜園会奨励賞 平成15年国際文化学科卒業 松浦 奈津子
 - 平成15年国際文化学科卒業 地域学生活動プロジェクト 共同代表 田中 美希
 - 坂上 留美
- 令和5年度
 - 桜園会功労賞 平成24年大学院国際文化学 研究科修了 原田 洋子
 - 桜園会奨励賞 平成15年大学院国際文化学 研究科修了 高畠 海
 - 桜園会学生賞 該当者なし
- 令和6年度
 - 桜園会功労賞 昭和37年家政科食物専攻卒業 木村 傳乃
 - 桜園会奨励賞 平成14年生活科学部環境デザイン学科卒、平成18年大学院修了 平川 和明
 - 平成17年生活科学部生活環境学科卒業、平成19年大学院修了 松村 竜也
 - 桜園会学生賞 手話サークル 部長 西村 美咲

しかし、コロナの影響もあり活動の制限や手話を披露する場が減り、思い通りいかない時もありましたが、このような賞を受賞できたこと大変嬉しく思っております。

特に、手話サークルの顔ともいえるのが「手話歌」です。周りの方から「手話歌感動するや」「大好き」といったお言葉を多くいただきます。このような言葉をいただけるには、手話歌完成に至るまでの背景があります。

1から既存している曲の歌詞をそのまま訳すのではなく、聴覚障害者の方に歌詞が伝わるよ

うに、手話訳に文章性やストーリー性を持たして作成することが求められます。そして、手話に訳した歌詞をさらに推敲をします。例えば、「手話に緩急をつけて表現しよう、ここは悲しい意味で訳しているため悲しい表情で表現しよう」、などより手話歌全体にアレンジ性を入れ、創り上げます。だからこそ、人前で発表した後の達成感や言葉にできないほど凄いです。ぜひ、その背景を知った上で、手話歌をご覧いただくと嬉しいですよ。

今後、手話サークルへの温かい応援をお願いします。

会員近況報告

卒寿も過ぎて

福田 百合子



昭和二十三年国語科卒業の私は、令和六年（二〇二四年）九月に満九十六歳を迎えました。

少々よたよた歩きではありますが、お蔭様で、何処も痛い所も無く元気です。感謝!!

令和六年は縁起の良い辰年。辰年生れの年女として「龍、天に上る」との春の季語通りの、芽出たさです。

最近、特別に芽出度く嬉しかったことを御報告申し上げます。皇室の愛子さまのご近況。日本赤十字社にお勤めについて、直前のご卒業に際しての論文題名「式子内親王の歌風について」などと、私の卒業論文名と同じではありませんか。卒業生数名からも「御存知でしょうか」など電話が色々。式子内親王の代表的な一首、「玉の緒よ絶えなば絶えね長らえば忍ぶることの弱りもぞする」

（命が今すぐ絶えてしまうなら、それでもよい。この激しく苦しい自らの恋心は、命長らえたら、絶え切れず弱ってしまいかも知れないから）

熱烈な恋の歌で有名な式子内親王。憧れに満ちた古典女性。

愛子さまの若々しいお姿と、式子内親王、自らの論文のあれこれをも重ねて、有り難く、嬉しく、喜びを満喫致しました。これこそ文学の効用の極みとも。

（昭和23年国語卒）

会員近況報告

附属幼稚園に

想いを馳せる

国広 勝代



久しぶりに閉園記念誌「四十七年の風景」を開いてみた。そこには、昭和二十五年短大昇格を機に附属幼稚園が大学内に設置されてから山口女子大学・山口県立大学の附属幼稚園として続いてきた歴史、役

割、子どもと親、学生や教員の思いが溢れていた。

思い出の欠片を拾ってみると当時「あなたは一体なにを考えているの?」という母親の問いに「遊ぶことばかり!」と明快に答えた園児がいた。何と素晴らしいことでしょうか。この子はきっとやさしい家族に恵まれ、思いやりのある友だちに支えられ、事実をきちんと受け止めてくれる先生と出会ってきたに違いないと思った。

号令のない幼稚園と評された母親、当時としては珍しいバザーを開催し続けた保護者は個性豊かな方々ばかり。家庭と連携して実施したことも多い。「聞いちゃった」活動、さくらんぼ館における図書館活動、チャボ小屋作り、個人記録集「栴檀」の作成、保護者のクラブ活動等々である。

幼稚園教諭、保育士また四年制大学となつてからは小学校教員免許の実習機関でもあり、優秀な人材が厳しい指導に耐えて巣立っていった。

思い出の欠片は山ほどあり、卒園児が社会人として活躍している姿や保護者、後輩との関係を糧として、これからも好奇心を満たす旅をしよう。

（昭和41年保育卒）

会員近況報告

「やまぐちライフ」に
ハッピー

藤井 裕生



早いもので、卒業して10年以上経ちました。昨年5月から

地元の放送局（Yab山口朝日放送）で働く機会に恵まれ、久しぶりの「やまぐちライフ」を送っています。現在は、平日夕

方の「YOUどきどき」(月々金15時55分)でMCを担当。新しい職場環境に慣れつつ、故郷での生活を満喫しています。

しばらく連絡を取っていなかった友人から「みたよ」と連絡をもらえるのはうれしいうれしい限りです。もともと頑張らなければと自分自身に言い聞かせ、1日1日を大切にしていきたいと思えます。母校が近くにあるのは大変心強いもので、実はたまに行きます。お世話になった教授と一緒に食べるランチは最高です。食堂も新しくなり、変わったなあ...と少しオシャレに

なった空間に嫉妬しつつ(笑)、当時と変わらない学生の皆さんの楽しそうな様子を見てみると、少しホッとします。変わっていくものがあるれば、変わらないものもある。卒業論文で研究した「ダジャレ」は今も変わらず大事にしています。それが仕事にも生きている(たぶん)と思います。ちなみに写真は、特別番組の収録時に撮ったものです。ご覧の通り「法被」を着ています。「ハッピー」な気持ちになつていただけると幸いです。

（平成25年文創卒）

新刊紹介



雑文集「山の匂い」
熊本玲子 著 (昭和43年国文卒)
藤山山口県農協印刷 非売品



「砂糖の日本史」
江後迪子 著 (昭和30年食物卒)
同成社 2,000円+税



モンシロチョウ、
「ねむるさなぎ」のひみつ
橋本健一 著
いとうあや 絵 (平成16年環テ卒)
汐文社 1,800円+税



少人数会議スペース



機能的な機器の配置

新桜園会 事務局の様子

桜園会事務局が北キャンパス
一号館五階に移転しました。今
までより広くなり、窓からは外
の景色がよく見えます。

桜園会創立80周年記念事業

桜園会創立80周年を記念して、ステレンスタンプラヤーとポケット
ファイルを作り、総会で配布しました。



総会・講演・公開講座等185本の
音声テープをデジタル化

チェーンソーアートで、
山口県立大学のマスコット
「わいびよ」を作成して、
大学に寄贈しました。
1号館の玄関に設置し
てあります。



〈令和6年度支部会開催報告〉

開催日	支部名	本部からの出席 (敬称略)
6年 6月15日	下関支部	竹永吉伸
6年 6月22日	山口支部	相本艶子/丹 佳子
6年 7月 7日	柳井支部	安光裕子
6年 7月 7日	小野田支部	土田敏子
6年11月16日		
6年 7月21日	長門支部	土田敏子
6年 9月29日	徳山支部	安光裕子

寄附欄

支部の解散に伴い、寄附金をいただきました。
長い間で支援ご協力ありがとうございました。



近畿支部 190,406円
東海支部 204,227円

桜園会支部リスト (令和6年12月13日現在)

支部名	支部長名	支部会員数(名)
広島	山下 直子 (被服S58)	716
四国	村松 幸子 (食物S35)	325
北九州	山本アーナ (被服S59)	413
福岡	柴田貴代子 (国文S55)	422
佐賀	松林 郁子 (児文S62)	136
大分	栗屋 文世 (国文S44)	288
岩国	小川百合子 (保育S46)	266
柳井	福田 玲子 (国文S55)	198
徳山	藤井由美子 (院H28・国文S45)	387
防府	田村 敬子 (国文H2)	495
山口	竹田 礼子 (児文S56)	1479
萩	藤井 郁子 (院H21・国文S47)	193
長門	中村 典子 (保育S51)	135
宇部	野村 陽子 (被服S61)	777
小野田	金子 宏明 (院H21)	201
下関	山下 知子 (国文S59)	443

桜園会の歩み

- 昭和54年(1979年)
 - 3月 山口女子大学第1期生卒業
同窓会入会
 - 9月 桜園会主催第1回公開講座開催
- 昭和16年(1941年)
 - 山口県立女子専門学校設立
- 昭和18年(1943年)
 - 9月30日 山口県立女子専門学校家事科
第1回卒業式挙行
(戦時による修業年限6か月短縮)
- 昭和21年(1946年)
 - 9月30日 「桜園会誌」創刊
- 昭和25年(1950年)
 - 山口女子短期大学
(国文科・家政科)設置
- 昭和26年(1951年)
 - 3月 山口県立女子専門学校廃止
山口女子短期大学第1期生
卒業・同窓会入会
- 昭和35年(1960年)
 - 4月1日 「桜園会会報」創刊
- 昭和50年(1975年)
 - 山口女子大学設置
- 昭和51年(1976年)
 - 3月31日 山口女子短期大学廃止
- 昭和54年(1979年)
 - 3月 山口女子大学第1期生卒業
同窓会入会
- 昭和55年(1980年)
 - 山口県立女子短期大学50周年
家政学部改組(食生活科学科、
栄養学科、生活デザイン学科と
改称)
- 平成6年(1994年)
 - 文学部改組(国際文化学部・社
会福祉学部設置)
 - 桜園会創立50周年記念式典
挙行(於)ホテルサンルート山口
- 平成8年(1996年)
 - 4月1日 山口女子大学を山口県立大学
に名称変更(男女共学化)
 - 講堂(桜園会館)に綴帳寄贈
同時に大和保男作陶板・宗内徳
子作皮工芸寄贈
 - 看護学部(看護学科)設置
- 平成10年(1998年)
 - 家政学部を生活科学部に名称
変更
(生活環境学科、栄養学科、環境
デザイン学科)
- 平成11年(1999年)
 - 山口県立大学大学院(修士課
程)設置
- 平成12年(2000年)
 - 3月 山口県立大学第1期生卒業
同窓会入会(男性会員同窓会
初代会)
 - 山口県立大学創立60周年記念
事業「桜の森プロジェクト2001」
始動
 - 12月1日 植樹祭開
- 平成13年(2001年)
 - 3月 山口県立大学大学院第1期生
修了・同窓会入会
 - 5月 山口県立大学開学60周年
第1回桜園会賞授賞式開催
- 平成15年(2003年)
 - 10月23日 桜園会創立60周年記念コン
サート開催
- 平成16年(2004年)
 - 5月15日 大学と共に公開講座開催
(於)桜園会館
講師・宇宙飛行士秋山豊寛氏
- 平成17年(2005年)
 - 6月8日 「桜の森記念碑除幕式」式典開催
- 平成18年(2006年)
 - 4月1日 公立大学法人山口県立大学へ
設置者変更
大学院健康福祉学研究科健康福
祉学専攻(博士後期課程)設置
- 平成19年(2007年)
 - 国際文化学部生活科学部看護
学部改組(看護栄養学部設置)
 - 12月16日 第1回桜の森育成プロジェクト開催
- 平成21年(2009年)
 - 大学院健康福祉学研究科健康
福祉学専攻(博士後期課程)
第1期生修了・同窓会入会
- 平成23年(2011年)
 - 5月21日 山口県立大学創立70周年記念
式典挙行
第1回ホームカミングデー開催
- 平成24年(2012年)
 - 別科助産専攻設置
- 平成25年(2013年)
 - 別科助産専攻第1期生修了
同窓会入会
 - 6月1日 水無月祭騎馬戦に於いて第1回
桜園会会長杯を授与
- 平成26年(2014年)
 - 5月17日 桜園会創立70周年記念行事
「もちまき」開催
- 平成27年(2015年)
 - 5月18日 第70回桜園会総会並びに桜園
会創立70周年記念祝賀会挙行
- 平成30年(2018年)
 - 11月3日 桜園会創立75周年記念行事
「もちまき」開催
- 令和2年(2020年)
 - 12月 コロナ禍における学生支援として
体温検知機能付きカメラ・
自動手指消毒器寄贈
- 令和3年(2021年)
 - 7月16日 山口県立大学創立80周年記念事業
萩焼陶板壁画「昇陽」除幕式
(大和保男作)
- 令和5年(2023年)
 - 9月30日 山口県立大学同窓会桜園会
創立80周年
- 令和7年(2025年)
 - 3月9日 一般社団法人山口県立大学
桜園校友会へ移行
- 編集後記

創立80周年記念号、いつもの倍のボリュームでお送りしました。「八十年の歩み」では、桜園会と大学の変遷を足早ではありますご紹介しています。軌跡に触れていたことで、先輩方はじめ諸先生方や地域の皆様のご尽力あつての「今」を、感じとっていただけと思えます。

「桜園会」は「桜園校友会」へと姿を変えますが、その本質は変わりません。これからも、一緒に母校を盛りあげていきましょう！

(小橋記)